

---

# 岐阜県立岐阜高等学校

学 校 長 南谷 清司  
学 校 住 所 岐阜市大縄場 3 丁目 1 番地 電話 058-251-1234

---

- 1 会議の名称 岐阜高等学校学校評議員会 (第 1 回)
- 2 会議の構成
- |       |        |                                   |
|-------|--------|-----------------------------------|
| 委 員   | 江口 裕國  | 丹羽歯科医院 医院長 (校医)                   |
|       | 川添 美砂子 | 元 P T A 副会長                       |
|       | 後藤 栄一郎 | 後藤木材株式会社代表取締役社長                   |
|       | 杉山 万里子 | 地域住民 主婦                           |
|       | 村瀬 康一郎 | 岐阜大学教授 総合情報メディアセンター<br>(委員名は五十音順) |
| 学 校 側 | 南谷 清司  | 校長                                |
|       | 河田 誠   | P T A 会長                          |
|       | 井上 幸治  | 事務部長                              |
|       | 居波 裕   | 教頭                                |
|       | 伊藤 崇   | 教頭                                |
|       | 高木 雅紀  | 教務主任                              |
|       | 久保田信孝  | 生徒指導主事                            |
|       | 市川 浩通  | 進路指導主事                            |
|       | 園部 利彦  | 学校活性化委員長                          |

- 3 会議の目的 「将来の日本や世界の様々な分野でリーダーとして活躍する人材の育成」等の観点から、岐阜高校の教育活動の在り方について、地域住民や保護者及び有識者などから幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

- 4 会議の開催 平成 2 8 年 6 月 2 9 日 (水) 13:30~15:30 岐阜高等学校 大会議室  
委員 3 人 (2 名欠席) と学校側 9 人が出席

## 5 会議の概要

- (1) 学校評議員の委嘱と学校長挨拶
- (2) 授業見学
- (3) 岐阜高校の現状と今年度の取組

### ア 本校の教育方針と教育活動について

本校は県内でも様々な分野でのリーダー養成の役割を担っている学校である。自主性、創造性などの養成だけでなく、豊かな人間性の育成が重要だと考えている。個々の進路実現ももちろん重要な目標だが、その先の「社会に役に立つ人材」の育成を目指したい。教科の知識のみならず、社会に目を向けて課題を見つけ、それに挑戦していく姿勢を身につけさせたい。

### イ 教務、学習指導について

確かな学力の身につけさせるために「65分授業」を実施している。「文武両道」を目指し、部活動への加入率も高く (89%)、生徒は毎日積極的に活動している。

今年度より、学習成果が上がっていない生徒を対象に、補習授業やカウンセリング的な学習相談会を実施する予定である。

選挙権年齢引き下げを受けて主権者教育の充実が必要とされ、講師を招いて職員研修会や公開LHRを実施している。

### ウ 進路指導について

将来を見通し自分の人生を見つめて、主体的な考え方や学習態度の育成を目指している。

高い (大学) 志望に見合うように指導をしていく。合格率 5 0 % 以上を実現させたい。

### エ 生徒指導について

交通安全指導として毎日の街頭指導を行っている。交通事故件数はやや減少している。

選挙権年齢引き下げを受け、生徒の政治的活動への対応のルールを示した。

オ 学校活性化について

グローバルリーダー養成事業の5つの柱について説明をした。

「生徒の心に火をつける」を合い言葉に、長いスパンで考えて向学心を喚起する事業を進めていきたい。

テーマ 授業見学を踏まえての学校への提言、意見交換等

意見1 先生の話に素直に反応する生徒の姿に良い印象を受けた。(昨年も申し上げたことだが)以前と比べて校舎など環境が良くなった。

意見2 防災の観点で、震災等の災害発生時の避難訓練は実施しているのか。授業中に災害が発生した時を想定して、教室以外のどこからでも避難できるように心掛けている必要があるのではないか。  
→ 今年度は既に2回実施し、避難経路の把握はさせている。緊急避難場所として岐阜市との協定は結んでいる。生徒用の非常用備蓄セットは1年次に購入し、校内に保管してある。数日間の避難は可能である。

意見3 主権者教育の充実を推進されているということであったが、今後の国を変えてやろうという意識を持った生徒を育ててほしい。

意見4 岐阜県は鹿児島県と姉妹県交流を行っている。医学界にも鹿児島県との交流事業があるが、高校レベルでもそのような交流があってもよいのではないか。

意見5 玄関に入って階段の手前に(生徒の作品である)花が飾ってあったのが良かった。掃除は行き届いているが、入り組んだところの階段の隅には少しほこりの残っているところがあった。大変だろうが、今一度掃除の徹底ができると良い。  
1年生の教室が暑かった。エアコンの監視はどうしているのか。  
→ 職員室の集中管理であるが、生徒の体調管理も考えてエアコン使用を少し控えている。

意見6 主権者教育に関して、校内での政治的活動は具体的にどのようなものが予想されるか。  
→ 大学生の先輩が活動を始めると、後輩である現生徒に影響があるかもしれない。主権者教育の目的は、「政治的な基本的知識を身につけさせること」、「課題を見つけ自分で解決していく能力を身につけさせること」の2点である。さらに、生徒がしっかりした意見を持ち、投票する権利を行使していけるように「啓発」することも重要である。

意見7 グローバル・リーダー養成事業の海外研修を経験した生徒達には物事の考え方や進路に影響はあったか。  
→ 生徒達はアメリカという国の底知れぬパワーを感じてくる。生活の意識として積極性は確かに増したように感じる。本校の海外研修は単なる海外旅行ではないと自信を持って言える。

意見8 以前ある保護者の方の中で、インターネットがこれほど普及し、海外が近くなった現在でも海外研修は必要かという意見があったが。  
→ 一般的に見聞きしたことと、自分自身が体験したこととはまったく違う。10代後半でのこのような経験は、今後の人生形成において貴重なものとなるはずである。

意見9 全員が優秀な生徒であるとは限らないので、成績が振るわない生徒にもフォローアップをしてあげてほしい。成績が振るわなくとも、卒業後に振り返って充実した高校生活だったと思えることが大切ではないか。  
→ 先ほどもご説明したが、今年度はそのような生徒への対応を始める。心配な生徒へのケアも、担任、教育相談担当などで対応している。月に1回の臨床心理士によるカウンセリングもある。今後はそのような生徒に対応できるような体制を学校全体として確立することを考えている。

## 6 会議のまとめ

校長：本日は十分な意見交換ができたと感じている。今後も継続的に本校の様子を観察していただき、貴重な意見をどんどんいただきたいと思う。本日はありがとうございました。